



北海道再生!!
一人に温かい道政

道政ニュース

高橋とおる

発行 2006年秋～冬 No. 3号
高橋とおる後援会
自宅 函館市美原4丁目2番14号
TEL・FAX 47-0867



委員長席で議事を進行する高橋道議

副委員長に就任

道議会・第二回定例会予算特別委員会第一分科会

道議会第三回定例会が九月十二日から開催され、委員会人事において、予算特別委員会第一分科会（総務部、知事政策部、企画振興部、環境生活部、保健福祉部、選挙管理委員会、人事部、公安委員会、出納委員会、監査委員会、企業局を所管）の副委員長の任を仰せつかりました。

予算特別委員会は、とりわけ夕張市を含めた旧産炭地問題や、道の財政運営、認定こども園条例、障がい者自立支援に関する認定や施設整備・雇用問題、環境税の本格導入に関する諸課題の他、公立病院における医師不足の改善等に質問が集中し、自らも「認定こども園条例」に関わる質疑を行い、部長答弁に納得せず知事総括質疑に保留、さらに負託委員会において附帯意見を付すなど、この定例

北海道議会議員

高橋 亨

《認定こども園》

子どもの保育にも規制緩和か：「保育に欠ける子」を保育する保育所と、「幼児教育」を行う幼稚園を合体させ、保育に欠ける子も欠けない子も入園させ、入園も保育料も施設との直接契約という「認定こども園」がスタートすることになりました。

道は認定基準の条例を作り、第3回定例会に提案しましたが、地域理解も不十分なままの拙速なやり方に多くの不満が出ています。委員会でも



地域理解も不十分のままスタートする認定こども園制度

内容の不十分さや施行日の先送りを質問しましたが、「国が十月施行だから」と自主性無き答弁（半分以上の府県の施行日は十二月以降）。やむなく委員会からは「附帯意見」を付すことに…。知事が国指図なら管理職もか。

《新たに高校教育に 関する指針》

地域の声は聞き置く程度？ 指針の前身は、一学年三間口以下は統廃合の対象、暫定二間口は廃止、一間口は廃校。存続を希望する市町村は道立から市町村立への移管を受けるか、通学状況や生徒の在籍状況（一学年2学級以下）に応じキャンパス校化（同一通学区域内の一学年四学級以上のセンター校から、出張授業や沿革授業などを行う）を検討するといふもの。

分聞きたい」と言っているが、今まで開催された「地域意見を聞く会」では、ほとんどが地域の高校を残して欲しいという意見であるにも係わらず、少子化を盾に、将来を見据えた指針だと譲る考えもない。地域意見を聞く会にはアリのバイ作りなのか。



恵山高校の廃校により受け入れ先となった道立戸井高校

高橋道議を支える市議会議員の皆さん



道畑 克雄（みちはたかつお）
（函館市議会議員候補予定者）
1961年札幌市に生まれる。45歳
1980年函館東高校を卒業し、函館市役所に採用。市役所労働組合副委員長などを歴任し、現在は、道南平和運動フォーラム代表、2007年4月に執行される市議会議員選挙に立候補予定。



斉藤佐知子（さいとうさちこ）
1959年函館市入船町に生まれる。47歳
函館遺愛女子高等学校を経て、1981年北海道立衛生学院を卒業し、函館市役所（市立函館保健所）に採用
2003年4月市議会議員に初当選し、現在1期目所属会派～民主・市民ネット 所属委員会～総務常任委員会
その他役職国際水産・海洋都市構想議員連盟幹事



福島恭二（ふくしまきょうじ）
1939年 木古内町で生まれる
1962年 函館市交通局入局
1970年 労働大学（通信教育）終了 労組委員長を経て
1983年 函館市議選初出馬初当選（以降6期上位当選）民生常任委員長、決算特別委員長、会派議員会幹事長、会派議員会長
1995～1997年 市議会議員
1997年 函館圏公立大学広域連合議会議長
1998年 予算特別委員長、監査委員、柏稜高等学校PTA会長等歴任
2003～2006年 市議会議長（前・後期）

引き続きのご支援をお願いします。

第3回定例道議会で採択された決議・意見書

- （ は政審発議、 は委員会発議 ）
- 地方自治体財政の充実・強化を求める意見書
- 食の安全・安心確保に関する意見書
- 難病医療費適用範囲見直しに関する意見書
- ドクターヘリ全国配備の新法制定を求める意見書
- 私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書
- 北方四島周辺海域における日本漁船の銃撃・拿捕事件に関する意見書

会派は、教育基本法改正案に反対し慎重審議を求める意見書、米軍戦闘機訓練の移転に反対する意見書」を提案したが、自民・公明会派の反対で否決されました。